

2019年4月15日

各位

株式会社リボミック
(コード番号：4591 東証マザーズ)

RBM-007の滲出型加齢黄斑変性症に対する前臨床及び臨床試験の進捗について、ARVO年次ミーティング（バンクーバー）で発表

RBM-007の滲出型加齢黄斑変性症（AMD）治療の前臨床及び臨床の進捗に関して、2019年4月27日から5月2日までカナダ・バンクーバーで開催されるARVO(The Association for Research in Vision and Ophthalmology)の2019年次ミーティングで口頭発表することになりましたので、お知らせいたします。ARVOとは、眼と視覚の基礎ならびに疾患に関する研究において世界で最も権威ある最大規模の学会であり、口頭発表に採択されることは難しく、今回採択されたことは非常に名誉なことでもあります。発表は、弊社の学術顧問であるカリフォルニア大学サンフランシスコ校教授、Robert B. Bhisitkul博士が行います。

発表内容は、AMDを標的としたRBM-007（抗FGF2アプタマー）の前臨床及び臨床試験についてを予定しています。網膜疾患のモデル動物で、RBM-007が血管新生と瘢痕化を抑制する（すなわち、二重作用を持つ）こと、そして、米国で実施中のAMDに対する第I/IIa相臨床試験（SUSHI試験）の一部データについても、本学会で紹介する予定です。

2006年の抗VEGF阻害剤の誕生以来、10年以上もAMDに対する新規な薬が開発されていないことが、網膜疾患の患者やその医療に携わる人たちにとって非常に深刻な問題となっています。私たちは、RBM-007の新たな作用機序が、抗VEGF阻害剤と併用又は代替可能なAMDの新たな治療薬として期待できると信じています。

以上

【本件に関するお問い合わせ先：経営企画部 03-3440-3745】